

技術士業務研究会／2022年（令和4年）3月度例会

☆開催日時：2022年（令和4年）3月11日（金） 19:00～21:30

☆開催場所：ZOOM を使った Web 例会につき、各自の PC 等でご参加願います

・開会挨拶（19:00～19:05） 部会長 細谷 陽三（金属）

・講演 1 （19:05～20:10）（講演 50 分、質疑応答 15 分）
『 海外プロジェクトから学んだ取って置きの話提供 』

技術士（経営工学部門）新居 哲 氏

【概要】

主として中東での大型鉄鋼圧延プラント建設を通して学んだ取って置きの話提供します。
リスクマネジメントを学んでいながら何の役にも立たなかった失敗談をはじめ、海外建設工事におけるイスラム国ならではの知られざる四方山話も披露します。その場限りのお話です。

・講演 2 （20:15～21:20）（講演 50 分、質疑応答 15 分）

『 シールドトンネルについて 』

技術士（建設・上下水道・応用理学部門） 広野 和正 氏

【概要】

シールドトンネルは建設工事のうちの土木工事で、都市部の地山が自立しない地質でトンネルを掘る工法です。

工法の歴史などを概説し、最近のシールド機の紹介やここ数年に発生した地面陥没事故と、その原因について講師の考えを述べます。

・業務研究会連絡事項（21:20～21:30）

☆Zoom による Web 例会参加方法

①「Zoom」アプリをインストールしているカメラ・マイク・スピーカー付の PC またはスマホ・タブレットをご準備ください。

②参加者に事前に送付する招待メールにある「長い URL」をクリックすれば、会議に参加できます。

◇講演会参加費 技術士業務研究会会員：無料 技術士業務研究会非会員：500 円
近畿本部パスポート保持者：無料
（日本技術士会近畿本部合格者祝賀会に参加された新合格者に配布）

例会後に請求書（振込先・振込方法を記載）を送付いたします。
支払期限：月末 振込手数料：自己負担

◇申 込 下記 HP からお申し込み下さい。メールでの申し込み不可。
業務研 HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>

【講師経歴】

新居 哲（にい さとし）

<職歴>

神戸製鋼所に入社：10年間鉄鋼圧延工場の機械設計、その後25年間出張乃至、長期滞在にて、主としてリビアなど中東・北アフリカ諸国で圧延工場の建設、及びセメントプラント建設（中国）や製鉄用ペレットプラント建設（ベネズエラ）のトラブルシューティング業務、並びにF/S調査案件や合弁事業計画。最終：同社エンジニアリング事業部の事業部長代理。

神戸製鋼所子会社社長（海外プラントへの予備品供給及び操業指導員派遣等）

中東諸国情報の提供&同諸国進出邦人企業へのコンサルサービス会社の社長。

この内の約1年間リビア・トリポリに滞在し、大手某社とリビア政府とのGRP工場建設・製造・販売の合弁事業支援コンサル。

<所属学協会>

日本リビア友好協会元副理事長、現常任顧問（現在協会は休眠中）

<資格>

技術士（経営工学）、リスクマネジメント「リスクプランナー」（一般財団法人リスクマネジメント協会日本RIMS支部）、公害防止管理者（騒音）、英検2級

広野 和正（ひろの かずまさ）

<生年月日>

1960年3月24日 大阪府茨木市出身

<学歴>

1978年 大阪府立春日丘高校 卒業

1982年 山梨大学工学部土木工学科 卒業

<職歴>

1982年 株式会社奥村組に入社

主に都市土木工事の施工管理に従事

シーロドトンネル工事、地下駐車場工事、技術開発、シーロド工事設計業務、推進工事、

製鉄所内の土木工事、工事管理部門や設計部門の部長

2019年10月奥村機械製作株式会社に出向

2020年4月同社に転籍

現在に至る

<専門分野>

シーロドトンネルなどの都市土木工事の施工・設計管理

<所属学協会>

日本技術士会、土木学会

<資格>

技術士：建設部門・トンネル、上下水道・下水道、応用理学部門・地質

1級土木施工管理技士、コンクリート技士、推進工事技士

<趣味>

読書：時代小説を年間150冊以上読破

ゴルフ、乗り鉄・時刻表マニア

シーロドトンネル工事の路線を歩き、地質を推測すること

以上